

公開保育

心ときめかせ夢中になって遊ぶ子どもの姿
～遊びのつながりから見える発達を大切に～

2022.12.17 実践報告書

1. はじめに

子どもたちの成長発達の次のステップへの架け橋となって一人一人の子どもたちを大切にしながら育んでいく姿を園に関わる様々な皆様と共有し、子どもたちを育んでいきたいと思い、公開保育を計画致しました。毎日の生活の中にある小さな発見や感動、そして成長・発達の姿は、今回の公開保育を通し、スタッフ間で共有し合うことで、協働性・同僚性の高まりを実感することが出来ました。

2. 公開保育までの経過

(1) 園における実践

日常の保育の中で「子ども主体の遊び」の深まりをねらいとした実践に着目し、経験を通して培われていく子どもの学びや育ちについて考察していく。

① 公開保育当日までのスケジュール

○各クラスにおける遊びから導き出されたテーマの設定（4月頃）

○保育カンファレンス（カンファレンス）7回

（5/13、9/7、9/21、10/3、11/11、12/13、12/16）

内容

- ・園児の状況
- ・活動の状況
- ・子ども達の興味、関心
- ・保育教諭の思い、意図
- ・課題

構成メンバー

- ・園長
- ・教頭
- ・各クラスリーダー

5月13日(金)

- ・公開保育に向けての役割とその担当者について
- ・全体テーマについて

- ・今後の進め方や準備についての確認
- ・カリキュラムやドキュメンテーション作成の進め方についての確認
- ・その他（コロナウィルス感染予防対策について）

5月16日(月)、7月7日(木)、7月28日(木)

- ・マインドマップやカリキュラムについて（全体的なこと）
- ・各クラスの様子とふりかえりをマインドマップにする

9月7日（水）

- ・公開保育にむけて
これまでのプロセス、子どものつぶやきや行動などにはどんな意味があるのか
- ・おがスタで投稿していることを共有し学び合う

9月21日（水） Zoom

- ・各クラスのエピソード記録によるクラスの保育についてプレゼンテーション 経過発表
- ・今後の展開 現在の子ども達の様子から考える
参加：園長、教頭、各クラスリーダー

10月3日（月）

- クラスの様子と予想される活動について①
- ・写真を持ち寄り話し合う
話し合い、検討、次の展開への意見交換をする
参加：園長、教頭、各クラスリーダー

11月11日（金）

- クラスの様子と予想される活動について②
- ・試した結果の反省会（各クラス指導案・全体風景の写真準備）
参加：園長、教頭、各クラスリーダー

12月13日（火） Zoom

- クラスの様子と予想される活動について③
- ・試した結果の反省会（各クラス指導案・全体風景の写真準備）
参加：園長、教頭、各クラスリーダー

12月16日（金）

- ・公開保育に向けての確認事項を話し合う
研究協議の各クラス表現の仕方、文章内容の確認
公開保育当日の環境構成について確認事項を話し合う

12月17日（土）

公開保育当日

②発表における公開保育と講演

市内の学校関係者、幼児教育保育施設関係者、自治体関係者、地域有識者、法人理事等が参加。公開保育後には、研究協議会を行い、実践を通した子どもの学びや育ちについて理解を深め、子ども主体の保育の可能性を検証する。

鼎談では、岩手県立大学 社会福祉学科 准教授 井上 孝之氏、聖和学園短期大学 保育学科 准教授 上村 裕樹 氏、社会福祉法人 みつは会 理事長 田頭 初美氏より『遊びは学び ～学びに向かう力を育む遊びの繋がり～』をテーマに幼保小接続の意義・重要性について学ぶことが出来た。

(2) 発表クラスの活動のテーマとねらい及びアドバイザー

・0.1 歳児 すくすく組

0 歳児 テーマ 『ほっとする』～五感いっぱいワクワクを～

ねらい 保育教諭や友だちと触れ合い、遊ぶ中で心地よさや安心感を味わう

1 歳児 テーマ 『さわる』～五感いっぱいワクワクを～

ねらい 様々な素材に触れ、感触を味わいながら遊ぶ

・2 歳児 らんらん組

テーマ『つながる』～遊びから始まる友だちの輪～

ねらい 友だちと関わりながら、遊びがつながる楽しさを味わう

・3 歳児 にこにこ組

テーマ『みつける』～たくさんの色の発見から表現へ～

ねらい 落ち葉に触れて色や形の変化に気づき自分で表現することを楽しむ

・4 歳児 わくわく組

テーマ『きづく』～石の可能性に気が付く～

ねらい 石を使った遊びを通して、自分の好きな遊びを見つけ、楽しむ

・5 歳児 ぐんぐん組

テーマ『かんがえる』～仲間と共にイメージを形に～

ねらい 友だちと話し合いをしながら、テーマに向かって作り出していくことを楽しむ

・アドバイザー 聖和学園短期大学 保育学科 准教授 上村 裕樹 氏

3. 各クラス発表における実施概要

(1) 公開保育実施日 令和4年12月17日(土)

社会福祉法人みつは会 認定こども園 みどりのかぜエデュカーレ

9:30 ～ 10:00 公開保育(フリー参観)

10:05 ～ 公開保育の概要説明と研究協議

11:20 ～ 鼎談 『遊びは学び』

～学びに向かう力を育む遊びの繋がり～

12:30 閉会

(2) 発表クラス・担当保育者

0.1 歳児クラス 担当

2 歳児クラス 担当

3 歳児クラス 担当

4 歳児クラス 担当

5 歳児クラス 担当

(3) 公開保育参加人数

小中学校関係者	…	4名	
教育委員会関係者	…	11名	
こども未来課	…	1名	
法人理事	…	2名	
幼児教育・保育施設関係者	…	16名	
保育教材取り扱い業者関係	…	4名	合計 38名

4. 公開保育・研究協議・講話を終えて

(1) 参加者からの感想・意見

公開保育について

- ・大変参考になりました。子どもたちが生き生きとしている様子や、先生方の対応の様子、取組の内容を実際に拝見できて、小学校とのつながりを考えることができました。環境づくりもすごく勉強になりました。小学校とのつながりはたくさんあると実感しました。多くの小学校の先生にも見てもらいたいと感じました。
- ・子どもたちの気持ちを大切に活動させているが、しっかりと育ちを意識した活動になっていて、とても素晴らしいと思いました。遊びがどんどん広がっている様子が見られました。
- ・子どもの主体に基づいた保育でした。このような具体の姿を見れてよかった。
- ・保育について、なかなかじっくり見る機会は少ないので、大変良い機会をなっている。是非、多くの小学校教員にも見て頂きたい。委員会として周知を図っていきたい。ただ、小学校にとって、土曜日出勤を命じるのは、難しいため、校長等との打ち合わせが必要と思う。
- ・学びの連続性を考慮しながら、教育・保育を展開されていて、素晴らしい実践だと思いました。園だけでなく、多くの方に子どもたちの生活の様子を発信されている取組は相互に学びあうことが出来るとともに、質への向上へとつながっていくと改めて実感いたしました。あるがとうございました。
- ・子どもたちがのびのびと過ごしている姿が良かったです。
- ・未満児中心に見学しました。この子たちの育ちが以上児の子の姿につながるのだなあとと思いました。
- ・子どもたちの思いを大切に活動、活動を楽しむ表情などが見られ勉強になりました。
- ・子どもの生き生きした様子が印象的でした。興味を大事にすること、主体性の大切さを改めて感じました。
- ・子どもの興味を高めながら、計画的に教育活動が進められているところが、素晴らしいと思った。
- ・みなさま自然体で子どもと向き合っている姿に感動したとともに、このような姿を保護者の皆様にも知っていただきたいなと思いました。
- ・一人ひとりの園児が主体的に活動していて、それに合わせて豊富な教材や準備がなされていた。先生方の関わりも子どもの思いや考えを尊重して見守る姿勢で接していました。物的・人的な教育環境の豊富さが「心ときめかさ夢中になって遊ぶ子どもの姿」に結びついているのだと思いました。
- ・お忙しい中、学びの場をあたえて下さり感謝いたします。
- ・環境・保育内容についてとても勉強になった。
- ・もしよければ、平日の人数が多い時の保育も見てみたいです。子どもたちの姿、先生方の姿、とても勉強になりました。公開保育に向けて参考にさせていただきます。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。年長さんの輪ゴムのしぼり方、とっても上手でした。
- ・片栗粉を使って、卵パックに絵の具を入れたり、身近な材料で工夫して先生方が遊びを考えてること、

手で触りたくない子にはスプーンを渡してあげる手助けがすばらしいと思いました。

- ・子ども主体の保育で、“やってみたい”の気持ちを大切にしていると感じました。なかなかコロナ禍で、難しいところもある中で素晴らしいと思いました。
- ・子どもたちのこうしたいに耳を傾けて子どもに「どうしたら〇〇なるかな？」と考えさせる質問をしていたりしていた。
- ・1つのおもちゃを出すのではなく、コーナーを設置し、子どもたちが自由に選べる環境設定がすてきだった。今年度4月から子どもたちの興味のある遊びを、様々な気付きや工夫を通して繰り広げていることを感じる事が出来ました。

研究協議について

- ・先生方の考えていること、テーマのねらい、日々の実践がよく分かりました。先生方の工夫を知って、所学校での指導にも生かせると思いました。やはり、小学校との接続を考えると、先生方の交流・協議も必要だなと思いました。どのように計画を立てて、実践するかノウハウを共有できたらと思う。
- ・春からの様子を知ることで、現在の子どもたちの姿につながっていることがよくわかりました。遊びから作品につなげることが素材を大切にしていよと思った。
- ・「学び」に向かわせるためのしかけ、工夫を説明していただきありがたい。
- ・各クラスの思いやねらい、これまでの保育の過程等が伝わった。保育する上で何を大切にしていかなければならないのかが伝わり、小学校とのつながり、連続性も考えることができた。教師のルールにのせるのではなく、子どもの主体性を大切にしながら活動していく大切さを改めて感じた。
- ・各クラスの先生が、それぞれが高い専門性を持ち、日々の保育を展開されている様子がうかがえました。素晴らしい発表ありがとうございました。
- ・今日の公開保育の内容を交えての発表が大変良かったです。特に0,1歳児クラスの頭に絵の具がついてしまった子は実際見ていたので、共感できました。
- ・先生が育てたい力を意図的・計画的に伸ばそうとしていらしていることが伝わりました。
- ・保育者の意図がわかり、育てたい力、これまでの流れが良く分かった。
- ・各クラスの先生方の説明から、それぞれの発達の段階に応じた指導のねらいが明確で教材の工夫や園児の実態に合わせた指導を目指されていることがよくわかりました。
- ・先生方の子どもへの愛が伝わってきた。子どもたちの姿をよく観察し、子どもの興味ややりたいに気づき、その姿を見守り、活動にいきていくように環境が準備がされていて素敵でした。
- ・各年齢の育ちがよく見える発表ですばらしかった。育てほしい姿にそった、写真入りのドキュメンテーションで見やすく参考になった。
- ・先生方が協力して質問に答えようとしている姿が、普段からコミュニケーションをよっているんだなと感じました。公開保育に向けて参考にさせていただきます。
- ・冊子に書いてあることを読み上げるだけでなく、先生自身の言葉で遊びの様子などをお話下さるのがとても良かったです。聞いていてとても心地よい声でした。
- ・日々の活動から今日までのつながりを詳しく聞くことが出来ました。毎日の保育で、先生方が考えながら保育活動を行っていることが分かりました。
- ・様々な話が聞け、とても良い勉強になりました。ありがとうございます。4月から子どもたちが興味を持ってのもの、同遊びに展開していくかを聞いて良かったです。
- ・教材選びは子どもたち「あれやりたい」「これやりたい」で準備をしていたり、子どもたちに気づいてもらえるような工夫をしていたりと、とても勉強になりました。

鼎談について

- ・大変勉強になりました。幼保小のつながりの面で、教材の工夫、扱いがどのように小学校とつながるのかを先生方で話し合うことが必要なんだと思いました。ぜひ、研修会で実施していただきたいと思いました。たくさんヒントをいただきました。ありがとうございました。社会とのつながりも意識していきたいと思います。
- ・生涯にわたる教育のスタートは幼児教育であり、そこから小・中・高としっかりつないでいく必要性を再認識しました。特に幼小のつながりを先生方がつくれる仕組みをしっかり考えていきたいです。
- ・上村先生、井上先生の話には、重要なキーワードがあり、その具体的な姿、公開保育の中に見ることができました。
- ・試行錯誤している姿を探求している姿として捉えることが大切という言葉が印象的であった。幼児教育も小学校教育もどうしても教えすぎる、手出しし過ぎる面があると思う。時に小学校。子どもにまかせる部分は、じっくりとまかせて探求させるということが大切であると感じる。ありがとうございました。
- ・“つながる”とても心に響いたキーワードでした。
- ・乳幼児保育・保育の素晴らしい魅力を再認識するとともに、この営みの重要性を全ての人と共有したいと心から思った時間でした。
- ・保育と教育のつながりについて学ぶことができました。
- ・井上先生の「探究」の話、とても興味深かったです。(子どもに考えさせる、つきつめる、それを認めていくことの意味等)
- ・探究の大切さが分かった。また、つながりが大切だと感じた。
- ・幼・保・小の接続のために、小と園だけの関わりだけでなく、地域も含めて大きな範囲、領域で進めていくことの大切さを再認識しました。
- ・幼稚園・保育園が高齢者を受け入れる社会福祉施設になっていくかもしれないというところにおどろいた。そして幼児教育が小学校の準備教育ではないということ、小学校の教員はしっかりと認識しておかなければならない。
- ・公開保育の子ども、先生の活動が先生方のお話により、さらに整理付けをすることができました。
- ・幼児、小、中、高とつながりの重要性をあらためて感じた。
- ・子どもたちの育ちを考えた保育の大切さ、幼保小の連携の大切さを改めて考えることができた。
- ・これからの保育の在り方、子どもの探求心の大切さについて重要なお話を聞くことができて良かったです。ありがとうございました。
- ・幼稚園の教育は、小学校の準備教育ではなく、子どもの主体的な姿や探求心をはぐくむことの大切さを改めて学びました。系列園の誕生の話なども聞くことができて面白かったです。
- ・これからのビジョンについて様々なお話を聞くことができました。写真やスライド、わかりやすいものばかりで聞きやすかったです。
- ・これからの幼児教育やこれから先(小、中)に関わってくることなど、様々な興味深い話が聞けてうれしかったです。探究心、大切にしていきたいと思います。
- ・子育ての社会化や幼保小連携など、地域との交流の課題など学ばせて頂きました。あおいくんが春夏秋冬「あまどいを使って砂を流したい」という自分の考えを実行するためにたくさん考えてためてみたりなど、子どもたちが今探究している人だということ、保育教諭は見守るということも大切だと勉強になりました。改めて、地域の方々とのつながりは子どもたちにとって、とても大切だということを感じました。

その他

- ・環境が素晴らしいです。先生方の声掛け、態度も素晴らしいです。子どもの主体性を発揮すべく見守っていることがよく分かりました。何より、子どもたちの熱中している姿が一番印象的でした。次回も楽しみにしております。今後ともよろしく願います。ありがとうございました。
- ・季節に合わせた活動のしやすい環境が整えられていて、とても素晴らしいと思いました。保育者の方々が子どもたちの「やりたい」を大切にして支援している姿がとてもすてきでした。
- ・子どもの視線をどのようにとらえてるか？かなり、良いサイン（学び、気づき）が出ているので。
- ・貴重な機会をいただきありがとうございました。今後ともよろしく願います。
- ・素晴らしい学びの時間をありがとうございました。田頭先生、園の皆様、講師の皆様、ありがとうございました。心より感謝しています。
- ・今年も勉強になりました。公開等お疲れ様でした。ありがとうございました。
- ・ICTでサポートできる事を現場から学んで製品づくりに活かしたいと思います。今日はありがとうございました。
- ・先生方が自信をもって堂々と快活に発表している姿、とても素敵でした。子どものつぶやきから生まれる遊びをサポートして発展させているのが素晴らしいと思いました。
- ・今日は本当にたくさんのお話が聞けて勉強になりました。ありがとうございました。私の園ではやっていない遊び、たくさん知ることができ、参考にさせていただきます。
- ・子どものやってみたいをすぐに実行する先生方の姿が印象的でした。やってみたいを実現できて、子どもたちの目がとても輝いていました。2歳以上満3歳児担当をしていますが、玩具を複数出すことをあまりしていないので、自分自身で自由に遊べるような環境設定を行っていきたいと思いました。そして、子どもたちの気づきや発見、つぶやきを共有し、遊びをつなげていきたいと思います。

(2) 公開保育各担任から

<0・1歳児クラス>

今回改めて、触れることの大切さを感じることができました。五感を通して子どもたちは常に成長していること、子どもの成長に合った遊びを見直すことができました。感触遊びを通して、一つの素材だけではなく様々な素材を取り入れ、交わっていく楽しさを味わったり、素材の違いに気づいていければと思います。また、2歳児が使用している教材などを使い、指先を使った遊びをしたり、興味がある遊びに行き来できるような環境を作っていきたいと思います。

<2歳児クラス>

個々の興味関心を持った事に取り組みやすい環境を整えていきたいと思います。活動を通して出来たことに目を向けるだけでなく、戸惑っている子に対する声かけや、集中している子に対する配慮も大切にして、出来た喜びを味わい、次へのステップもやってみたい、こうしてみようという発展へ繋げていけるよう声かけや援助などの配慮も大切にして行きたいと思います。今回の公開保育を踏まえ、さらに子ども達がどんなことに興味を持つのか、のびのびと活動できるのか考えながら環境を設定していきたいと思います。子ども達の発見やつぶやき、ひらめきにアンテナを向けられるよう担任間で日々の伝え合いを大事にし、話し合っていきたいと思いました。

<3歳児クラス>

春には自分のクレヨンで自由にお絵描きしていた子ども達が、あるお友だちの偶然の発見から、そしてさらに「やってみたい」から始まった様々な経験からますます色への興味関心を持ち、成長して

きたように思います。子どものイメージや表現することの公開保育後の振り返りでアドバイス頂いたこと、例えばテーブルの置き方一つでも子どもの動きや気持ちに影響がある事を意識して、今後も子ども同士が楽しい気持ちを共有し、遊びこめる環境構成に役立てていきたいと思っています。

<4歳児クラス>

子どもたちが、日常生活から遊びを通して色々な発見やひらめきなど、大切な時間を過ごす中で、多くのことを学び成長していく姿が見られ、次は次はと日々の楽しみを見つけ出し、友達と言う人間関係も育む姿が見られました。活動中のテーブルの配置、動線など環境構成や体調管理なども視野に入れ、遊び込みが出来るよう配慮していきたいと思っております。

年長児の遊ぶ姿や活動する姿を見て自分たちもやってみたいという思いが芽生えてきている子ども達。今回は「石」というテーマではありましたが、今後も色々な素材や自然物などに触れ、経験し、より興味や関心が遊びから学びへと繋げていけたらと思います。

<5歳児クラス>

きっかけはちらし遊びでしたが、子どもたちの遊びがどんどん発展していき、初めは個人で考えた、模倣することが多く見られていましたが、自然と友だち同士で話し合ったり、協力したりするなど、徐々に言葉を介してイメージや楽しさを共有する姿がたくさん見られるようになりました。また、はさみの使い方やのりの付け方など、回を重ねるごとに安心して見守れるようにもなりました。

子どもたちの感性に驚かされることがたくさんあり、子ども自身が持っている経験や知識を使って目の前にある物にイメージを表現していくことやそれぞれ特徴のある素材を使いわけ、それぞれが様々な思いをもって遊びを展開していく楽しさを存分に味わっている姿に気付くことができました。はさみの使い方など安全面での配慮や環境設定について配慮しながら、子どもの安全を第一に考えるのはもちろんのこと、その中で遊びのびのび楽しく遊びこめる環境作りを心掛けたいと思いました。

5. まとめと今後の課題

<全体を通して>

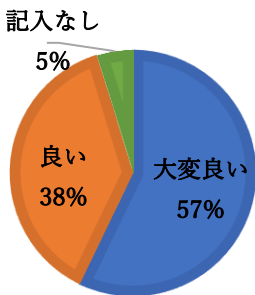
- ・ 乳幼児期の子どもたちが興味関心を持って主体的に遊ぶ姿は、環境構成や援助の工夫、子ども達一人ひとりに応じた保育者の関わり、子どもの主体性を尊重した保育の展開が大切だということがわかりました。公開保育を行うことで、保育者が子どもの「思い」どのように大切に受け止め、応答的に関わり、次の活動への興味関心につなげていくのかというテーマが浮き彫りになりました。今後はもっと子ども達のつぶやきに耳を傾けるように心がけ、子ども達が感じていること、楽しいと思っていること、興味を持っていること、次にやりたいと考えていること等を保育者が感じ取り、子ども達の興味・関心に寄り添えるようになると、子ども一人ひとりの思いに寄り添いながら主体的な活動を支え、環境の構成再構成を繰り返しながら保育を展開していけると考えました。
- ・ また、これまで以上に、保育の充実を図っていくために、子どもの経験したことやその時々のおいを組み取り、「何をするのか」ではなく、何をしてみたいのかを大切に計画を立てていくことが重要だと感じました。
- ・ 保育を公開することにより、改めて子ども同士が関わりあい、育ちあっている様子を確認するよい機会になりました。
- ・ 今後も「子どもの行動には意味が込められている」ことを踏まえ、子どもの主体性を受け入れながら、遊びを生み出すことの楽しさを存分に味わわせていきたいと思いました。

令和4年度 公開保育 評価表
 社会福祉法人みつは会 認定こども園みどりのかぜエデュカーレ

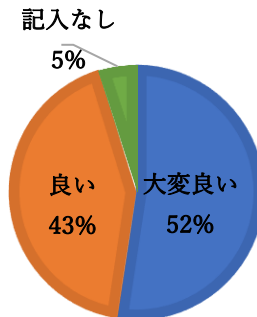
評価段階 5…大変良い 4…良い 3…普通 2…一部検討を要する 1…改善を要する

項 目		評価					
		5	4	3	2	1	その他
1	これまでの活動と本日の活動の継続性は感じられましたか。	12	8				1
2	保育者の関わり・援助は、子どもの活動に合っていましたか。	11	9				1
3	園児は、主体性を持って取り組んでいましたか。	12	9				
4	園児は、友達と楽しんで生活していましたか。	18	3				
5	園児は、保育者の話すことを理解していましたか。	11	8	2			
6	園児は、保育者の話を理解し、自ら行動できましたか。	13	8				
7	時間配分は、適切でしたか。	12	8				1
8	危険のないように安全面を配慮していましたか。	14	6	1			
9	保育者の園児に対する態度や言葉遣いは適切でしたか。	18	2	1			
10	子どもの気持ちがテーマに向かうように援助していましたか。	15	6				
11	子どもの個人差を把握、配慮していましたか。	11	9	1			
12	教室は、保育・教育しやすい環境にっていましたか。	13	8				

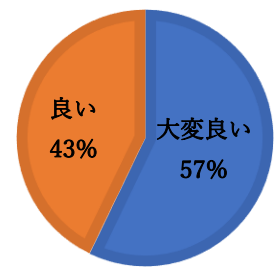
1. これまでの活動と本日の活動の継続性は感じられましたか。



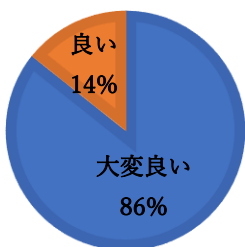
2. 保育者の関わり・援助は、子どもの活動に合っていましたか。



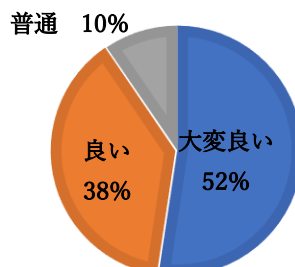
3. 園児は、主体を持って取り組んでいましたか。



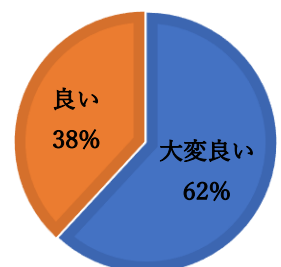
4. 園児は、友達と楽しんで生活していましたか。



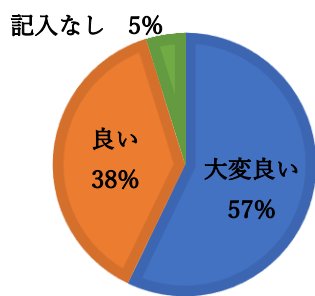
5. 園児は、保育者の話すことを理解していましたか。



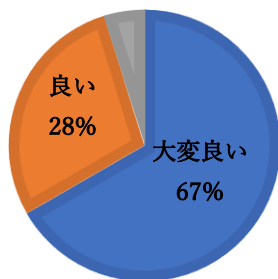
6. 園児は、保育者の話を理解し、自ら行動できましたか。



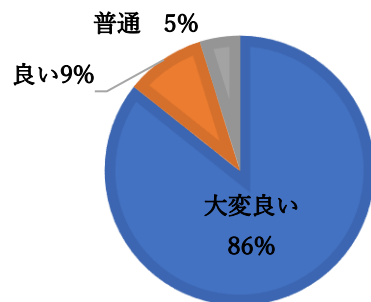
7. 時間配分は、適切でしたか。



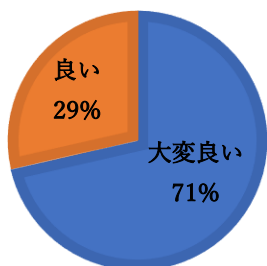
8. 危険のないように安全面を配慮していましたか。



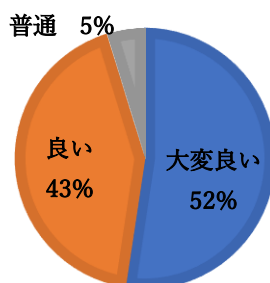
9. 保育者の園児に対する態度や言葉遣いは適切でしたか。



10. 子どもの気持ちがテーマに向かうように援助していましたか。



11. 子どもの個人差を把握配慮していましたか。



12. 教室は、保育・教育しやすい環境にしていたか。

